

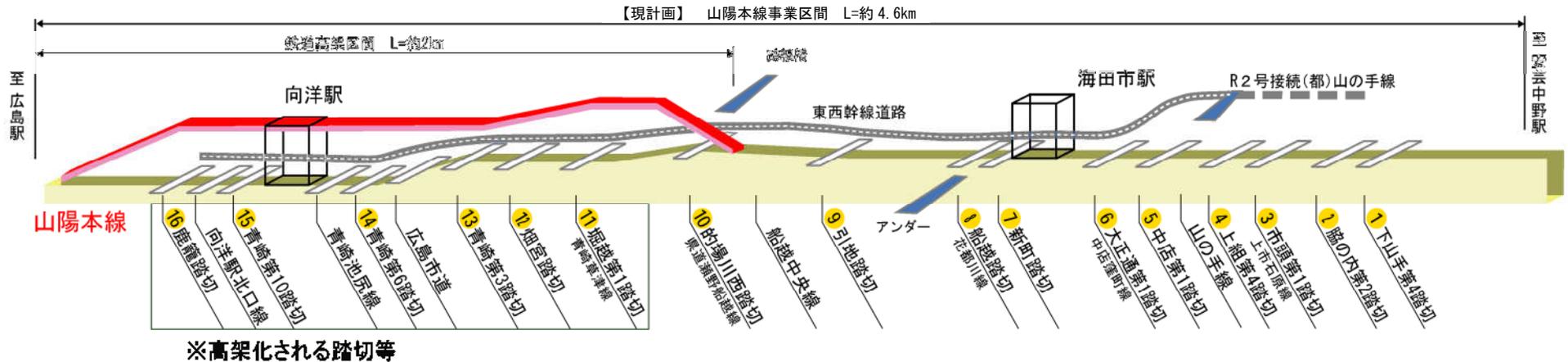
「広島市東部地区連続立体交差事業の見直し検討の状況について」(抜粋)

見直し案の検討

1 見直しの視点

- ①事業実施手段の見直しによる事業目的の達成(交通の円滑化、南北市街地の一体化、踏切の安全確保)
- ②事業実施に向けての実現可能性(工事期間の長期化の解消、事業費の縮減など事業規模の見直し)
- ③土地区画整理事業への影響(工事期間の長期化の解消、土地区画整理事業の事業計画との連携)
- ④連立事業の進捗状況(買収済用地の活用)

2 見直し案の概要



①主な事業内容

連立延長 L=約 2 km

東西幹線道路：1路線、跨線橋：2路線、アンダーパス 1路線

②全体事業費 (※現在の事業費を基本に県・市が試算した概算額)

約 570 億円 (県域：約 320 億円，市域：約 250 億円)

③工事期間

工事着手後 10 年間程度 (想定)